

授業科目名 (英 文 名)	上級ミクロ経済学 Advanced Microeconomics	単 位 数	4 単位
担当者所属・職・氏名	経済研究所・教授 今井晴雄, 経済研究所・教授 森知也	期 間	前 期
テ ー マ	近代経済学の研究者を志す全ての修士課程1年生にとって、必ず理解しなければならないミクロ経済学(ゲーム理論含む)の各トピックを、コースワーク形式で効率よく学ぶ。		
受講についての 必要な予備知識	学部の経済原論またはそれに相当する科目(1・2年生向け)を履修済みであることは前提とする。また、ミクロ経済学あるいはそれを用いた3・4年生向けの専門科目を受けていることが望ましい。独習などにより、上記と同等の学力を身につけているのもよい。		
評 価 の 方 法	試験を2度行い、その成績を評価の基準とする。また、宿題をほぼ毎週提出させるので、その成績も加味する。		
テ キ ス ト	なし (講義ノートを用いる)		
参 考 文 献	Mas-Colell, A., Whinston, M.D. and Green, J.R., <i>Microeconomic Theory</i> , Oxford University Press, 1995. Jehle, G.A. and Reny, P.J. <i>Advanced Microeconomic Theory</i> (3 rd ed.), Financial Times Prentice Hall, 2010. Varian, H.R., <i>Microeconomic Analysis</i> (3 rd ed.), W.W. Norton & Company, 1992. 奥野正寛・鈴木興太郎『ミクロ経済学 I』岩波書店, 1985年. 山崎昭『ミクロ経済学』知泉書店, 2006年. 林貴志『ミクロ経済学』ミネルヴァ書房, 2007年. その他、個別のトピックについては講義中に指示する。		
オフィスアワー	初回にアナウンスする。		
授 業 計 画			
<p>全体を前・後半に分け、前半を森、後半を今井が担当する(日程詳細は、初回にアナウンスする)。各パートで扱うトピックは、以下のとおりである。</p> <p>[前半]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生産者の理論と消費者の理論 ・ 市場均衡(簡単な定義のみ) ・ 簡単な一般均衡モデル: 国際貿易(リカードモデルとヘクシャー・オリーンモデル) ・ 独占および独占的競争 <p>[後半]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 競争均衡と存在: 一般均衡理論の初歩、厚生経済学の基本定理、部分均衡モデル ・ 市場の失敗: 外部性、公共財 ・ 不確実性と意思決定: 戦略的相互依存、ゲームの均衡、不完全競争 ・ 動学的ゲームと戦略: 不完全情報ゲーム、非対称情報、社会的厚生とメカニズムデザイン、交渉と協力 			

